

国指定天然記念物

いり みず しょう にゆう どう
入 水 鍾 乳 洞



「三山（仙台平・中平・駒ヶ鼻）の大地の地底は、竈（水が漏れること、洞窟）になっている」という古老の言い伝えをもとに、地元の人々の探索によって昭和2（1927）年に発見され、発見当初は「滝根不動洞」と称されていました。

滝根カルスト台地の東側を流れる早稲川の水が、大地の下を伏流し、結晶質石灰岩を溶かしてできた洞窟の全長は約948mです。

洞内には奇妙な形の鍾乳石が無数に懸垂し、最も大きなもので直径が1mにも及び、地蔵洞、ライオン岩、カボチャ岩などの名所があります。